

佐渡の農山漁村の生業を大切にし、 集落でかけがえのない時を過ごす 人と人とが繋がっていく世界観



【出典】集落のプロモーションビデオのたたき台（制作：スタジオマクワンカ）

◆CCRCとは・・・

【出典】コトバンク

「継続的なケア付きの高齢者たちの共同体」。仕事をリタイアした人が第二の人生を健康的に楽しむ街として米国から生まれた概念。元気なうちに地方に移住し、必要な時に医療と介護のケアを受けて住み続けることができる場所を指す。政府は、有識者会議で「日本版CCRC」構想をまとめた。高齢者の地方移住を促すことで首都圏の人口集中の緩和と地方の活性化を目指す。

▼佐渡版CCRCとは・・・

CCRCとは『高齢者が元気に輝き続けるムラづくり』

のことだと私は理解しています。多世代交流の促進とそのためのシニア雇用を作り出すことが必要と考えます。

【対象】⇒既に佐渡に住んでいる高齢者の方。佐渡出身の方が数多く所属される首都圏佐渡連合会との連携、入間市・国分寺市・荒川区などの首都圏在住者の方に対して、健康長寿で暮らせる終の棲家としていただくこともあり。

▼松田智生氏（三菱総合研究所プラチナ社会センター主席研究員）

CCRCは、首長の考え方次第で、前向きに進んでいく！

▼桑原聡氏（一級建築士事務所 桑原聡建築研究所 代表）

CCRCは、『施設』ではなく『住まい』と再認識せよ！

ピンチをチャンスに変える 日本版CCRC(生涯活躍の街)

CCRC(Continuing Care for Retirement Community)

佐渡市では、2025年の地域包括ケアシステム構築に向けて、様々な角度からその対策について模索しています。超高齢化、人口減少、雇用不安等は既に大きな課題となっており、その対応は急務となっているところです。この度、日本版CCRCについて佐渡市で展開できる可能性を考察するため、講演会を開催し理解を深めたいと考えております。つきましては、皆さま方にはご参加のほどよろしくご願ひ申し上げます。

日 時：平成29年7月24日(月) 午前10時から正午まで
会 場：佐渡市 金井コミュニティセンター 大会議室
講 師：松田 智生氏（三菱総合研究所プラチナ社会センター 主席研究員）
内 容：ピンチをチャンスに変える日本版CCRC（生涯活躍のまち）
講 師：桑原 聡氏（一級建築士事務所 桑原聡建築研究所 代表）
内 容：八幡平と周辺地域のCCRC実践を経て佐渡での可能性を考える



▼松田 智生氏
専門は超高齢社会の地域活性化、アクティブシニア論。
2010年よりCCRCの有望性を提唱し、政府の日本版CCRC構想有識者会議委員他、産官学でアドバイザーを数多く務めるミスターCCRCと言われる当該分野の第一人者。
「日本版CCRCがわかる本」の著者。



▼桑原 聡氏
都内住宅・集合住宅、及び近郊の別荘を多数手掛ける傍ら、オークフィールド八幡平、東八幡平病院、特別養護老人ホームりんどう苑、ものがたり診療所もりおが、釜石上中島町高齢者住宅など、八幡平市と若手県内でのプロジェクトも多数進行中。一級建築士・インテリアプランナー・宅地建物取引士。



日本版
CCRCが
わかる本



主催：佐渡市 所在地：新潟県佐渡市千種232
お申込み・お問合せ先：佐渡市 市民福祉部 高齢福祉課
地域包括ケア推進室（担当 安達）
【TEL】0259-63-3790 【FAX】0259-63-5121
【E-mail】 r-care@city.sado.niigata.jp

▼佐渡の明るい未来をつくる方程式：DMO×CCRC=PPK

◆DMO×CCRC=PPKとは・・・

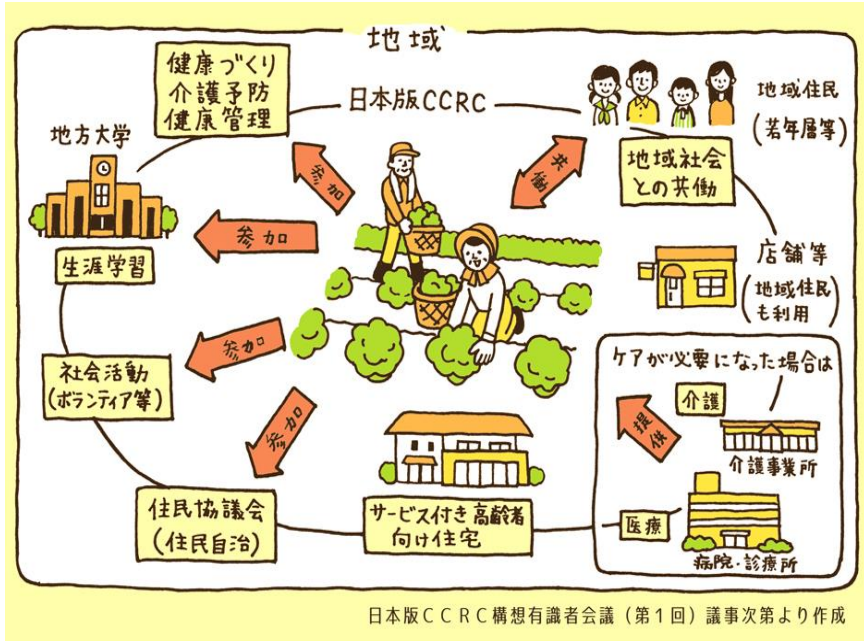
DMOとは『旅行商品の地産地消を推進する組織』

CCRCとは『高齢者が元気に輝き続けるムラづくり』

PPKとは『亡くなる直前まで元気なピンピンコロリ』

↓
観光地域づくりに関わりながら、元気な高齢者として日々の生活を営み、地域に貢献していただくことで、ピンピンコロリの最期を迎えることができれば、その人にとってとても幸せな人生だったと思えるような世界が実現できるのではないかと考える。

アクティブシニア＝元気な高齢者の皆さんが、小中学校に赴き総合学習に関わることや、子どもを預かるような多世代交流をしたり、遊休農地を活用した学校給食のための野菜作りや地域内の草刈りなど、地域の仕事を行うこと、観光のお客様に集落のガイドを行うことなどによって生き甲斐を見出し、ひいては健康長寿であり続けること。それが観光DMOの観光地域づくりの中で掛け算されていく仕組みづくりが必要。より多くの高齢者の方が集落への貢献という役割を担いながらお元気に暮らしていただくことが重要だと考える。



日本版CCRC構想有識者会議（第1回）議事次第より作成

【出典】RECRUIT社 HELPMAN JAPAN <http://helpmanjapan.com/article/4598>



PPAP ならぬ PPK

【出典】youtube <http://rocketnews24.com/2016/10/12/811319/>

▼建築家夫婦のドキュメンタリー映画『人生フルーツ』

◆建築家の津端（つばた）修一さんと妻の英子さんのお話

- 『こつこつ、ゆっくり。人生、フルーツ。』というコピー。
- 津端修一さん（1925年～2015年）は、アントニン・レーモンド氏や坂倉準三事務所を経て、日本住宅公団発足と共に入社。「阿佐ヶ谷住宅」「多摩平団地」などをはじめとする多くの団地の設計を手がけられた方です。
- 昭和36年からは愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの計画・設計にたずさわることとなり、思うままにマスタープランを描くものの、高度経済成長時代で効率が優先。
- 残念な気持ちを抱えながらも、自邸を高蔵寺ニュータウンの一角に設け、恩師レーモンド氏のかつての自邸を模した平屋建ての家の庭には、妻の英子さんと共に育てたキッチンガーデン。70種の野菜と50種の果実が、英子さんの手でお料理やお菓子など美味しいご馳走に。充実した暮らし。
- 2015年6月2日、津端修一さんは庭の草むしりをした後、昼寝したまま、二度と起きることはなかったそうです。まさにピンピンコロリの幸せな最期を迎えられました。ただし、英子さんにとっては、60年も連れ添ってきて、急に一人になると寂しいというより虚しい、とのこと。病気であれば覚悟を決める時間はあるかもしれませんが、急なこととなれば、心の準備はできないですからね。
- お金は次の世代に渡せないけれど、土を良くすれば誰でも絶対に作物はできる。そして、お金よりも人である。英子さんのこの言葉は大変印象的でした。

∴佐渡版CCRCの実現においても参考となる生き方の一つ。



ナレーション 樹木希林

プロデューサー:阿武野勝彦 音楽:村井秀治 音楽プロデューサー:岡田こすえ 撮影:村田敦崇 音声:伊藤紀明 オーサリング:山口幹生 TK:須田麻記子
音響効果:久保田吉根 編集:奥田繁 協力:日本映画専門チャンネル 監督:伏原健之 製作・配給:東海テレビ放送 配給協力:東風
2016年/919/H/D/16:9/日本/ドキュメンタリー ©東海テレビ放送

津端修一さん90歳、英子さん87歳 風と雑木林と建築家夫婦の物語 life-is-fruity.com

【出典】 <http://life-is-fruity.com/> 撮影:田淵睦深 提供:主婦と生活社

▼小木エリア 温泉CCRC×DMO＝PPK化構想（案）



小木の温泉は、県下No.1級のアルカリ性であり、PH9.55と非常に高い。
（※中性はPH7.0）
美肌効果があるとされるのみならず、抗うつ作用もあると言われている。

●●● 部分の敷地は、高台にあり眺望がよい。また、宿根木や鼓童村等滞在型観光を体験可能なコンテンツが揃っており、商店街にもアクセス可能となっている。

【出典】 Google Map 3D

▼羽茂エリア 温泉CCRC×DMO＝PPK化構想（案）

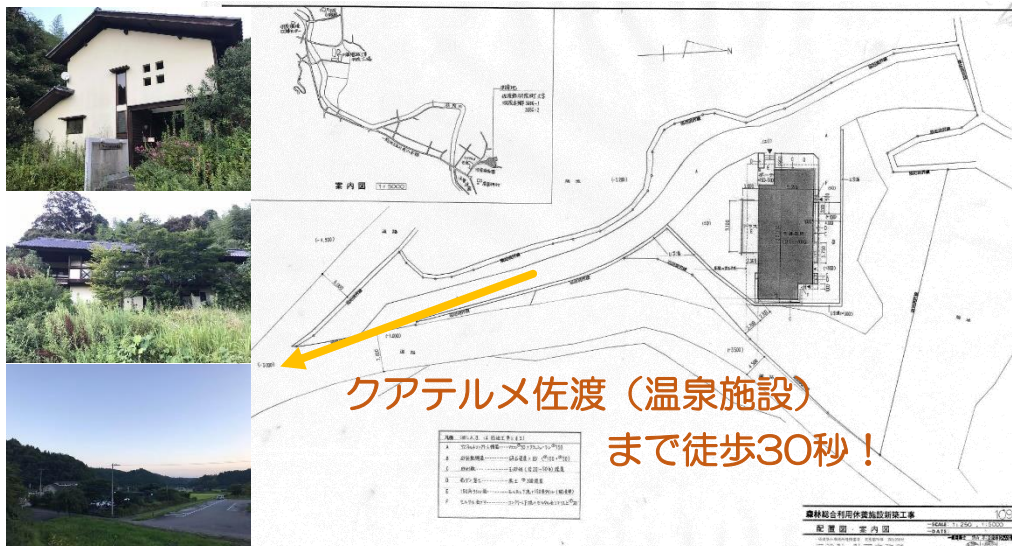


羽茂温泉が至近である、元宿泊施設ウッドパレス妹背をリノベーションすることで、温泉CCRCの公設民営型モデルが実現できると考える。半径500m以内に健康増進施設や観光コンテンツとなる場所が多数存在。ムラ歩きガイドとしても活躍できる可能性を併せて持っている。

【出典】 Google Map

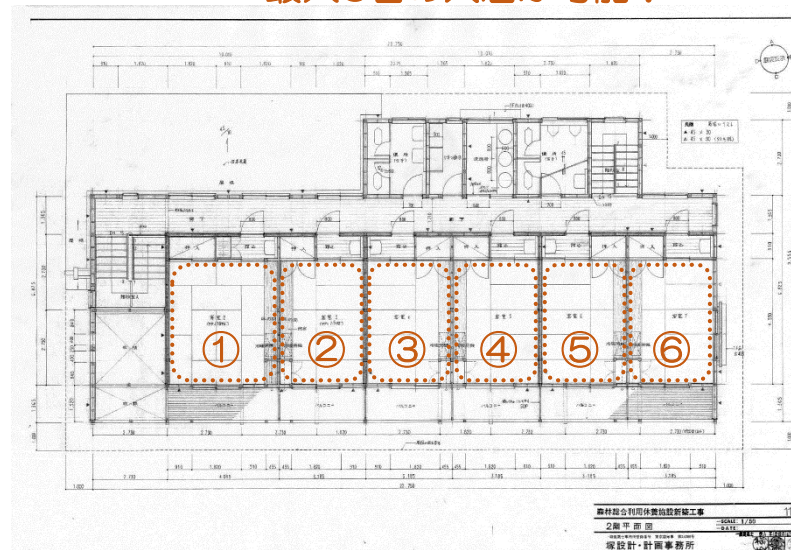
▼ウッドパレス妹背のリノベーション：温泉CCRCへ(案) 7

▼画像・外構平面図



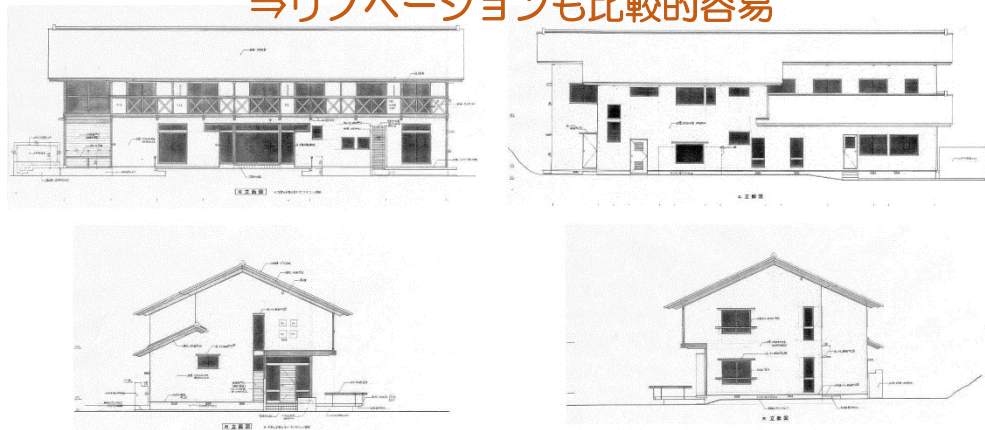
▼2階平面図

最大6名の入居が可能！

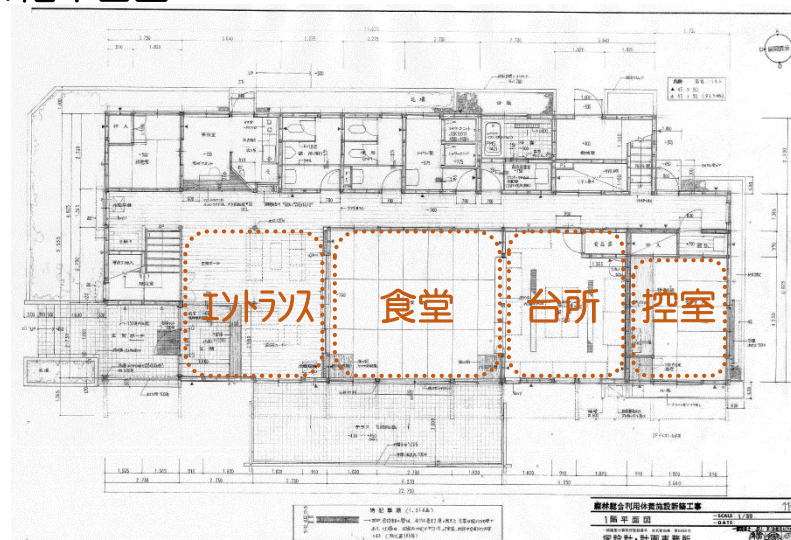


▼立面図

総二階、切妻屋根のシンプルなつくり！
⇒リノベーションも比較的容易



▼1階平面図



【出典】佐渡市産業観光部観光振興課資料

Sado Island Galaxy Art Festival 2016

さどの島の銀河芸術祭 2016



展示・パフォーマンス・ワークショップ会場：
 新潟県佐渡市新潟市
 あいぼーと佐渡：高橋信一 / 萩原光之 / 特急2222
 加茂湖周辺：神村恵+ミルク倉庫 (梶原あずみ、宮崎直幸) / juri / 百田モト
 岩首地区：寺田佳央 / 尾崎邦彰
 鷺崎地区：梶井照隆

過去と未来の帰港地、さどの島
 荒海や佐渡によこたふ天の河 松尾芭蕉
 今から300年あまり前、芭蕉が「奥の細道」の旅の途上で佐渡の空に見たという天の川、初秋のその時季、佐渡の上に天の川はなく、彼の心眼が捉えたものなのでしょう。「さどの島銀河芸術祭」は過去と未来をつなぐ現在において、佐渡が芸術文化の帰港地となることをめざして磨き出した小さな芸術祭です。佐渡に存在する個性の輝きを語りおこし、島外からの刺激とともに新しい創造空間をつくり出して、「銀河」のようにきらめいてほしいと願っています。佐渡内外の作家による版画と写真、現代アートの展示と、佐渡の自然と生活文化を知るためのワークショップを、島内各所で行ないます。

8月26日(金) ▶ 10月10日(月・祝)

主なイベント：オープニング・記者発表 8/27(土) 13:00～ あいぼーと佐渡 / 島の銀河交流会 8/31(水) 13:00～ 岩首談話所 / シンポジウム 9/25(日) 16:00～ あいぼーと佐渡 / クロージングイベント 10/9(日) 13:00～10日(月・祝) 麴の館 佐志住庵礎(はしすせそ)

主催：さどの島銀河芸術祭実行委員会 www.sado-art.com
 共催：島みなとオアシス佐渡海津 / 佐渡島加茂湖水系再生研究所 - KAMOKEN - / 岩首談話所 / WAVE
 後援：佐渡市 / 佐渡市教育委員会 / 一般社団法人 佐渡観光協会
 協力：青木寛太郎 / あきつ / 麴の館 佐志住庵礎(はしすせそ) / (一社)新潟県建築士会 佐渡部 渡辺 秀(はせつろ) / お泉亭 山本 / 加茂湖漁業協同組合 / 株式会社インテークロス / 株式会社スタイル / 写真の町シブタ・プロジェクト実行委員会 / いしはら / EARTH CELEBRATION 2016 / Guest Villa on the Bay / HELLO! BOOKS / sadobands / sadoshima ART MISTLETOE / SEISUKE next door / Bar&Cuisine GALICIA / wtaxan
 お問い合わせ：あいぼーと佐渡(担当:川上) ☎0259-67-7633 ①sadoronshims ②@sado_art

【出典】さどの島銀河芸術祭 公式WEBサイト
<http://sado-art.com/>

公益財団法人 鼓童文化財団について

【出典】鼓童文化財団 公式WEBサイト
<http://www.kodo.or.jp/foundation/>

heritage
佐渡島の3つの宝

佐渡金銀山
MINE
世界有数の金の島
佐渡を世界遺産へ

ジオパーク
GEOPARK
地殻変動が繰り返された
三億年の奇蹟

世界農業遺産
GIAHS
国際的に評価された
トキと人々の営み

佐渡島には3つの宝ものがある

金銀山 (MINE)、トキ (GIAHS)、大地の遺産 (GEOPARK)

佐渡島は、面積855km²(東京23区の約1.5倍)、周囲約280kmの日本海側最大の島です。

約300万年前から続く地殻変動で生まれた佐渡島は、自然風景そのものがまるで展示物のような“大地のテーマパーク=ジオパーク”であり、島の色々な場所で佐渡の成り立ちに関わる地層や海岸地形、そこに育まれた生きものや人の暮らしを見ることが出来ます。

また、火山活動によって形成された金銀鉱床により、佐渡の金と銀は江戸幕府を支える大きな力となって、最盛期には、鉱山町相川だけでも約5万人の人口を抱えるほど栄えた島となりました。明治以降、最先端の技術が導入され、東洋一の近代的な鉱山として発展しました。金銀山の繁栄は遺跡や町並みとして今に伝えられるとともに、能や民俗芸能など多彩な文化も継承されています。

一方、豊かな生態系と生きものを育む水田で続けられてきた佐渡の米づくりは、2011年、国際連合食糧農業機関 (FAO) に認められ、先進国では初めて佐渡と石川県能登地域がGIAHS(ジアス=世界農業遺産)に認定されました。日本で最後まで生き残り、現在再び佐渡の空を舞うトキは、生きものと島民が里山で共生する佐渡の象徴でもあります。

豊かな大地の遺産、トキや天然杉などの恵まれた自然、人々が育んだ伝統文化を持つ佐渡は、まさに宝の島なのです。

【出典】佐渡市WEBサイト
https://www.city.sado.niigata.jp/z_ot/3heritage/index.html

事務局機能：
 実行委員会or佐渡市or民間企業or財団

『DMO・DMCの観光地域づくり』
 『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想

▼^{ひとし}渡辺齊氏『大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ』⁹

◆2017年6月25日(日) @あいぽーと佐渡

- 大地の芸術祭は「交流人口の増加」「地域の情報発信」「地域の活性化」を主要目的とした2000年から始まるアートプロジェクト。
- 基本理念は「人間は自然に内包される」
- 渡辺さんは、「大地の芸術祭」を新潟県職員の担当責任者としてアート×地域の成功に結びつけた立役者である。
- 人口減少は、ただの現象であって、それ自体が問題ではない。
- 妻有地域には公共事業に依存する仕組みが作られていた。
- 自分が生まれ育った、住んでいる地域のプライド醸成が必要。
- アートで地域を活性化できないかと考え、「越後妻有アートネックレス構想」を構築した。
- 蛇のように脱皮するイメージ
- 最初は散々な評価であったが、長期的な戦略が必要で、10年、20年と継続することが必要。自治体とも覚書を締結した。
- 合意形成をとるのが大変だが、若者をワークショップへと巻き込む。
- 地域の方々とは膝と膝とを突き合わせてじっくり話し込むべし。
- 依存の構造から、自立の構造へのシフトが必要。
- 結果としては、地域に笑顔が増え、地域愛が育まれたと思う。

∴渡辺齊氏の言葉

『アートとは、自然と関わる技術のことである。』
がんばろう！という意識が地域の景観にも現れてくる。

▼(一社)新潟県建築士会常務理事 渡辺齊氏 第3回「芸術祭のつくりかた」講座にて



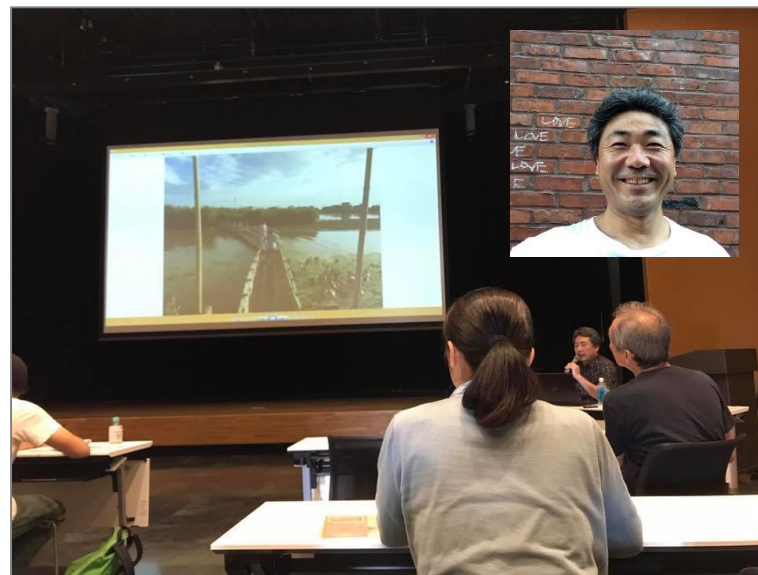
【出典】公式サイト <http://www.echigo-tsumari.jp/>

▼小川弘幸氏『新潟市 水と土の芸術祭について』

◆2017年8月20日(日) @あいぽーと佐渡

- 水と土の芸術祭は、2009年にスタートし、水と土に新潟の成り立ちのアイデンティティを求め、様々なプロジェクトを通じ情報発信。
- 基本理念は「私たちはどこから来て、どこへ行くのか～新潟の水と土から、過去と現在（いま）を見つめ、未来を考える～」
- 芸術祭にはベーシックな基本理念が必要で、絶対にぶれるべからず。
- 小川さんは水と土の芸術祭2015総合ディレクターとして新潟での芸術祭を成功に結びつけた立役者である。
- ①アートプロジェクト ②市民プロジェクト ③シンポジウム ④子どもプロジェクト ⑤おもてなし のうち、注目を集めて来ているのは市民プロジェクトである。基本理念に沿ったものであれば、街歩きでもダンスでもなんでもあり。つまり基本理念構築が最重要！
- 芸術祭を通じて、自分たちに何ができるか？
アーティスト×地域の人々：新潟は市民プロジェクトが方向性を導く。
- 2015年は潟をベースに展開し、建築家の方々がアートプロジェクトに参加。例えば、浮島に渡る橋を舟を三艘つなげているアート作品では、潟ぶねの作り方を建築家が教えてもらい、芸術祭終了後は、舟を地域に寄贈。地域は、潟ぶね体験の舟として利活用している。
- ∴2018年度開催予定とされる佐渡、新潟、越後妻有という三つの芸術祭が県内で開催されれば素晴らしく、移動も含めて楽しめる！
大地の芸術祭は里山が舞台。水と土の芸術祭は港町・田園が舞台。
両方の要素を併せ持っているのが佐渡であるという印象である！

▼文化現場代表/プロデューサー 小川弘幸氏 第5回「芸術祭のつくりかた」講座にて



【出典】公式サイト <http://www.mizu-tsuchi.jp/>

▼さどの島銀河芸術祭の拡大解釈の可能性について①

◆アートとネイチャーは対義語である。

⇒アート（新たに用意する数十カ所）のみならず、今ある佐渡の資産を有効に活用する！ ∴拡大解釈する！

Art

Natural Art

Artificial Nature

Nature

例

世阿弥の彼岸ポート
葦舟(よしふね)
NAMI映像作品
版画村美術館
他インスタレーション



相川消防署のムカデ足アート
35+1の能舞台、寺社仏閣
300有余の集落景観
北沢浮遊選鉱場
大間港のローダー橋



小倉などの棚田
里山の人工林
登山道沿いの草花
田んぼアート
さどんぼ



新潟大学演習林の天然杉
夫婦岩や人面岩など
大野亀&二ツ亀
平根崎波蝕甌穴群
断層などのジオスポット



▼さどの島銀河芸術祭の拡大解釈の可能性について②

◆芸術と自然は対義語である。

⇒アート（新たに用意する数十カ所）のみならず、今ある佐渡の資産を有効に活用する！ ∴拡大解釈する！

芸術

⇒さどの島銀河芸術祭

自然的
芸術

⇒世界遺産暫定リスト

芸術的
自然

⇒世界農業遺産

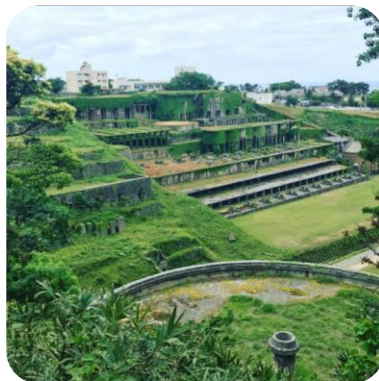
自然

⇒日本ジオパーク

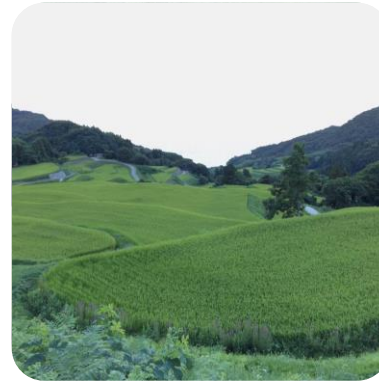
インスタレーション&
芸能など元々ある芸術



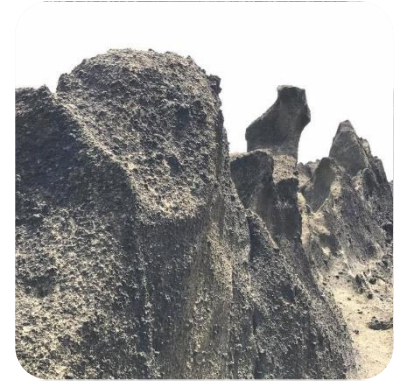
7つの構成資産
浮遊選鉱場、大間港etc



環境共生型農業
水田/棚田とトキ



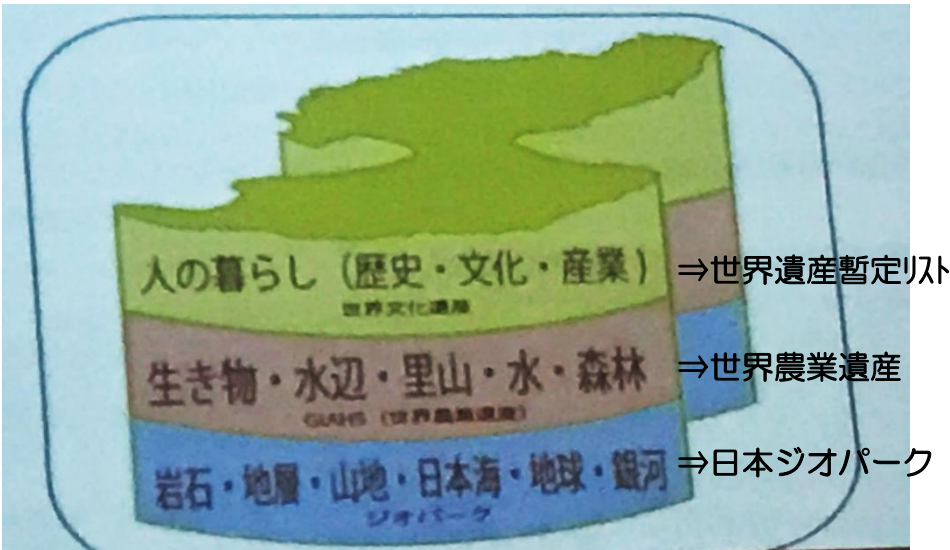
全島10のジオスポット
奇岩や断層や自然風景



▼(世界的)三資産プロモーションとは・・・

◆2018年度開催予定の佐渡/新潟/越後妻有：三つの芸術祭

◆ジオ(大地)の上に、生き物と人々の暮らしがあり、歴史や文化が生まれたというストーリー。



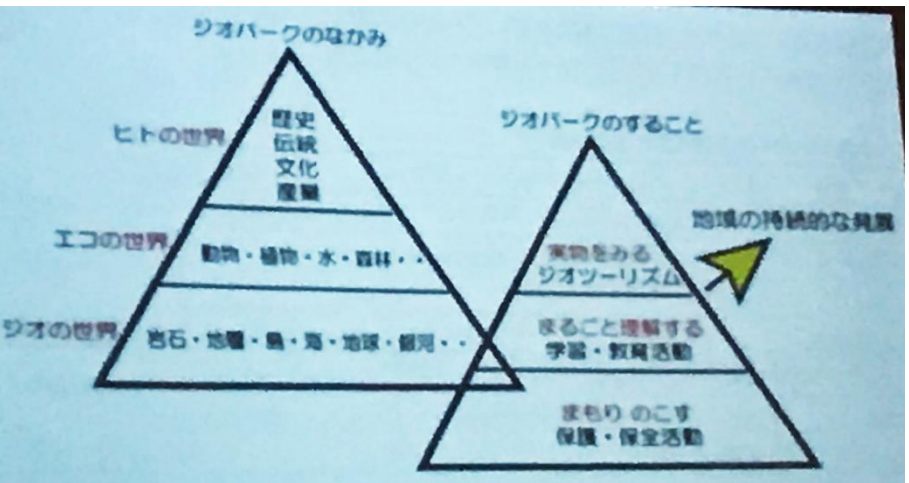
▼十日町市/津南町
大地の芸術祭



▼新潟市
水と土の芸術祭



←連携→
三つの芸術祭が連携
①里山/港町/田園が舞台の芸術祭！
②移動も楽しめる！
③インバウンド対応！



【出典】佐渡市 社会教育課 ジオパーク推進室

▼関原剛氏『佐渡にはたくさんの「クニ」がある!』

◆2017年7月3日(月) @トキのむら元気館・コミュニティホール

- ・総務省「地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会」として、国を挙げて『地域運営組織』なるチームを形成することで、地域社会を維持していく仕組みづくりが必要であるという方針。
- ・NPO設立17年目の地域運営組織に、12の機能が結果論的にできた。
- ・地域が自前の事務屋をやるというスタイルが必要。
- ・高齢者の方が健康長寿になれば、数億円のお金を介護・医療分野等で節約できる。
- ・うかうかしていると学ぶべき先生がいなくなってしまう状況で、猶予期間はそれほどないので、「クニ」組織（地域運営組織）を活用して、下記三点の能力を持つチームが必要である。

①つなぎ能力 / ②事務能力 / ③マネジメント能力

- ・FIT (Foreign Independent Tour) : 海外個人旅行は重要。
地域内に、毎日15人くらい観光客がいる状況をつくるべし。
 - ・ハレとケの日について、イベント開催に頼りすぎずに、むしろ、ケの日を大切にすべきではないか。
 - ・NPO法人かみえちごとしては、専門家としての知識ではなく、網羅的な知識が必要とされる。
①町内会は町内会のことをやる
②川の流域に桜を植えるなど系全体のことはNPOがやる
上記二種類の住み分けができていたので、補完する仕組みができた。
- ∴ 佐渡市における『地域運営組織(RMO)』を形成しようとするとき、適正な規模としては、23の小中学校区が最も近いイメージだと思う。

▼ NPO法人・かみえちご山里ファン倶楽部
関原剛氏「地域づくり公開セミナー」にて



地域運営組織・12の機能

1 生活保全	2 民俗文化 景観遺産 維持保全	3 高齢者 健康年齢 伸長	4 小さな 公共交通	5 児童生徒 地域教育 Uターン教育	6 自然保護 農地林地 保全
7 地域資源 産業創出	8 公的事業 委託運営	9 往還者 創出事業 都市交流	10 塞ノ神 機能 窓口機能	11 総合事務 機能 つなぎ機能	12 人材育成 機能

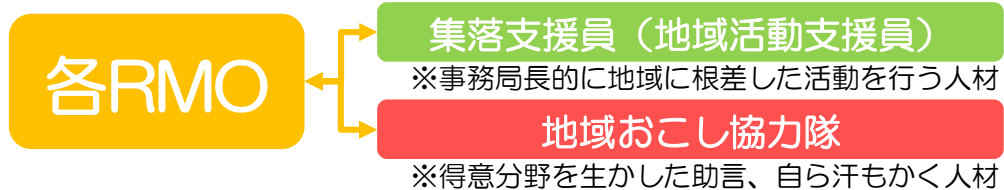
【出典】2017年度佐渡RMOづくりワークショップ資料

▼ 『地域運営組織（RMO）』の佐渡での規模感について 15

◆佐渡市における『地域運営組織(RMO)』

適正な規模としては、23の小学校区が最も近いイメージ。

⇒『地域運営組織(RMO)』に集落支援員（地域活動支援員）と地域おこし協力隊を招聘、配置するという考え方



▼庭先集荷等の素晴らしい取り組みをさらに向上

市民農園や遊休農地等の活用が期待さる。学校給食に遊休農地を活用した野菜を提供できないか。アクティブシニア層をメインターゲットとし、学校給食用の野菜を遊休農地で作ってもらう。売り先は決まっており、佐渡の子どもたちが美味しく食べてくれるということに生き甲斐を見出すことができる。地産食材供給の現状(地産率3割)を打破することができる取り組みと考える。

▼23の小学校区で考える農地の情報化、最適化

農地の情報化・最適化が必須。農業委員・農地利用最適化推進委員の皆さんのご協力や23の小学校区単位で実行する地域情報化を地域おこし協力隊の招聘により実現できないか。



【出典】佐渡市教育委員会作成：小中学校学区

▼みんなちがって、みんないい / 金子みすゞさんの詩

◆金子みすゞさん（1903年～1930年）の詩。

▼わたしと小鳥とすずと

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、
地面（じべた）をはやくは走れない。



金子みすゞ
(1903～1930年)
【出典】wikipedia

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう、
たくさんのうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

⇒それぞれの良いところを認め、多様性を大切にせよ。
と私は解釈します。

室岡が考える佐渡の最大の魅力＝『集落多様性』

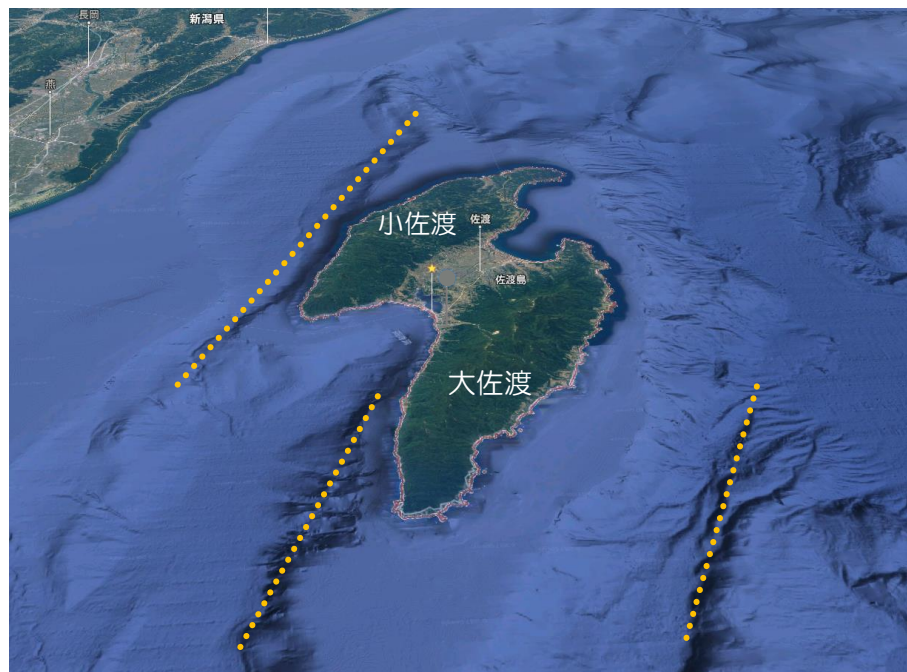
⇒大地の二本のシワが地形にも多様性を生み出した。

⇒農村、山村、それから漁村

みんなちがって、みんないい。



日本列島は、プレートによってつくられた大きなシワ。佐渡は二本のシワ。



【出典】Google Map 3D ⇒大佐渡/小佐渡と平行に海溝が走っている。